

神戸大学

震災文庫展示会

資料でたどる

阪神・淡路大震災の 記録と記憶

期 間 2004年11月8日(月)～14日(日)

午前10:00～午後5:00

会 場 神戸大学社会科学系フロンティア館3F
プレゼンテーションホール

記念講演会

2004年11月12日(金)

午後1:30～3:30

震災文庫から<震災>を読み解こう

神戸大学文学部教授 岩崎 信彦

震災文庫の足跡 -10年を振り返る-

神戸大学附属図書館 渡邊 隆弘

入場無料



主 催：神戸大学阪神・淡路大震災十周年事業委員会 神戸大学附属図書館

資料でたどる阪神・淡路大震災の記録と記憶

このたび神戸大学附属図書館では、神戸大学阪神・淡路大震災十周年事業の一環として、震災文庫の展示会・記念講演会を開催することになりました。これを機会に、震災文庫を一人でも多くの方に知っていただきたいと考えております。多数の方のご来場をお待ちしております。

■震災文庫とは

神戸大学附属図書館が独自に収集し、広く一般に公開している阪神・淡路大震災に関する資料の文庫です。収集している資料は一般的な図書・雑誌にとどまらず、チラシ、ポスター、レジュメ、パンフレット、広報紙、写真、ビデオなど多様で、その数も2004年4月現在で約38,000点に達し、今も増え続けています。

被災地の中心に位置する総合大学図書館の使命として、震災後間もない1995年5月から関係資料の収集・保存活動を開始し、同年10月30日から「震災文庫」として公開を開始しました。今年の11月で開設10年目を迎えました。

■展示会

4万点近い資料の中から、約100点を展示いたします。展示内容は次のとおりです。

1. 報道せよ！ —神戸に何がおきたのか—
震災直後の日本各地の新聞報道など
2. 空から見た傷跡—写真・地図でみる震災の被害と復興—
震災直後の被災地図、航空写真など
3. 行政と住民による私たちのまちづくり
災害被災者等支援法関連資料、行政による復興計画、市民の要望書など
4. 避難所では… —神戸大学内避難所のくらし—
避難所での生活および神戸大生ボランティアの活動資料など
5. ボランティアの活躍
全国から集結したボランティアの活動資料など
6. 震災直後の鉄道輸送 —寸断された状況下、いかに人を運んだか—
鉄道復旧の苦闘を物語る資料など
7. こころの復興
復興をこころの面から支えた音楽、ボランティアや住民によるイベント
8. 明日への備えを
非常持出袋・防災マニュアルなど震災の経験を生かすための資料

■記念講演会

- 「震災文庫から〈震災〉を読み解こう」
神戸大学文学部教授 岩崎 信彦
- 「震災文庫の足跡—10年を振り返る—」
神戸大学附属図書館 渡邊 隆弘



写真：(表)和田幹司 (裏最下段)大木本美通 (その他)附属図書館

交通：JR六甲道 阪急六甲より神戸市バス36系統
神大正門前下車徒歩5分

問合先：神戸大学附属図書館 震災文庫
社会科学系フロンティア館2F
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
TEL：078(803)7315
e-mail：shinsai@lib.kobe-u.ac.jp
http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/

